

5-3 津波避難計画

アジア防災センターでは、日本政府、自治体と共同で、地域ごとの津波避難計画策定モデル事業を実施した。その事業の目的、概要等を下記に示す。

1) 事業の目的

2001年度に海岸線等を有する地方公共団体における津波対策実施状況アンケートを実施し、津波避難計画の策定状況や策定にあたっての課題等を分析した。この結果、

- ・ 都道府県による「市町村における津波避難計画策定指針」の作成
- ・ 市町村による「市町村における津波避難計画」の策定及び「地域ごとの津波避難計画」策定の支援
- ・ 地域における、住民参加・参画による「地域ごとの津波避難計画」の策定

を提案し、津波避難計画を策定する際に参考とする「市町村における津波避難計画策定指針」及び「地域ごとの津波避難計画策定マニュアル」を示した。そして、各地方公共団体の実情に応じた「市町村における津波避難計画」や「地域ごとの津波避難計画」の策定を推進していくこととした。

一方、アンケート調査結果によれば、津波避難計画の策定が進まない原因として、津波浸水予測図の未策定や住民への周知不足、地域ごとの津波避難計画策定にあたっての市町村職員のノウハウ不足等があげられている。

このため、今年度は、当該調査研究業務の成果の実践と位置づけ、地方公共団体の中からモデル地域を選定し、当該調査研究業務の指針及びマニュアルに沿って、県による「市町村における津波避難計画策定指針」の作成から、住民参加・参画による「地域ごとの津波避難計画」策定までの一連の津波避難計画策定を実践するとともに、「地域ごとの津波避難計画」の策定過程における住民等の検討状況や意見、課題、課題解決策等を記録したハンドブックを作成し、住民参画による「地域ごとの津波避難計画」策定のモデルケースとして海岸線等を有する市町村に紹介することにより、全国の津波避難計画策定の推進を図ることを目的とした。

2) モデル地域

モデル地域を3県5市町、三重県尾鷲市、和歌山県湯浅町、同広川町、同太地町、高知県高知市を選定し、事業を実施した。選定理由は下記の通りである。

- ① 東南海・南海地震の今世紀前半での発生が懸念されており、三重県、和歌山県及び高知県では、過去の同地震により大きな津波被害を受けている。
- ② 三重県は、東南海地震による津波被害の発生が予想され、東海地震の強化地域にも指定されている尾鷲市
- ③ 和歌山県は、東南海地震による津波被害の発生が予想される太地町並びに南海地

震による津波被害の発生が予想され、同じ湾内の湯浅広港に面し広川を境として隣接している湯浅町及び広川町

- ④ 高知県は、南海地震による大きな津波被害が予想される高知市

3) 事業内容

事業の内容については、次のとおりである。

(1) 「市町村における津波避難計画策定指針」の策定

指針策定のための検討会を2回にわたり、県の関係各課、モデル市町関係各課、学識経験者で行い、その検討結果を踏まえて、各県が「市町村における津波避難計画策定指針」を策定した。

(2) 「市町村における津波避難計画」の説明会

各県は指針を策定した後、県内の海岸線を有する市町村に対し、説明会を開催しました。説明会では、県が策定した指針を説明するとともに、学識経験者を招いて津波に対する知識やワークショップの手法について講演をいただき、「市町村における津波避難計画」を作成するためのサポートを行った。



図 5-3-1 和歌山県における市町村説明会の様子—学識経験者の講演

(3) 「市町村における津波避難計画」の策定

各モデル市町は、県が策定した指針に基づき、津波浸水予測図や津波到達予想時間を反映し、それぞれの地域の実情に合った津波避難計画を作成した。なお、各モデル市町に対しては事前に打合会を開催し、策定方法等についてアドバイスした。

(4) 「地域ごとの津波避難計画」の策定

各モデル市町は、津波避難計画を作成した後、地域住民が参加するワークショップを開催した。ワークショップでは、学識経験者を招いて、津波の恐ろしさについて講演をいただくとともに、実際に避難経路を歩くなど、住民が避難地図を作成していく過程で助言をいただき、「地域ごとの津波避難計画」を策定した。



図 5-3-2 尾鷲市におけるワークショップの様子
— 東南海地震の体験談の継承



図 5-3-3 高知市における避難目標地点と避難経路のチェック



図 5-3-4 広川町におけるワークショップの様子
— 地域住民が作成した地図



図 5-3-5 湯浅町のワークショップにおいて
— 地域住民が作成した避難計画地図

なお、ご協力いただいた学識経験者は、つぎの通りである（五十音順）。

河田 惠昭	京都大学巨大災害研究センター長
今村 文彦	東北大学大学院工学研究科付属災害制御研究センター教授
小池 信昭	和歌山工業高等専門学校助教授
重川 希志依	富士常葉大学環境防災学部助教授
本田 裕	三重大学教育学部地学教室助教授